

1 例にならって「まるで」のようだ」という意味が成り立つように

□から言葉を選んで文を完成させましょう。

(例) 今日の風は、まるで(あらし)のようだ。

(1) 彼の足は、まるで()のようだ。

(2) 彼女の笑顔は、まるで()のようだ。

(3) きみの話は、まるで()のようだ。

小説・バネ・太陽

2 次の文の()にもっとも合う比喩の表現を下から選んで書きましょう。

(1) () 白い肌はだ

(2) () かわいい手

(3) () 真っ赤なほお

りんごのような
もみじのような
雪のような

3 次の一線部の読み方を□の中から選んで()に書きましょう。

色紙にサインをもらった。()

しきし・いろがみ

色紙で輪飾わかざりを作った。()

勉強をしている最中だ。()

もなか・さいちゅう

おやつに最中をたべる。()

名前には仮名をふってください。()

かめい・かな

本名ではなく仮名で名乗る。()

生物はくさりやすい。()

なまもの・せいぶつ

生物の進化をたどる。()



「まるで」のようだ」という表現を比喩ひゆというよ。どんな様子か具体的にわかるね。

1 例にならって「まるで〜のようだ」という意味が成り立つように

□から言葉を選んで文を完成させましょう。

(例) 今日の風は、まるで(あらし)のようだ。

(1) 彼の足は、まるで(バネ)のようだ。

(2) 彼女の笑顔は、まるで(太陽)のようだ。

(3) きみの話は、まるで(小説)のようだ。

小説・バネ・太陽

「まるで〜のようだ」という表現を比喩といふよ。どんな様子か具体的にわかるね。



2 次の文の()にもっとも合う比喩の表現を下から選んで書きましょう。

(1) (雪のような) (白い肌)

(2) (もみじのような) (かわいい手)

(3) (りんごのような) (真っ赤なほお)

りんごのような
もみじのような
雪のような

3 次の一線部の読み方を□の中から選んで()に書きましょう。

(1) 色紙にサインをもらった。(しきし)

色紙で輪飾りを作った。(いろがみ)

(2) 勉強をしている最中だ。(さいちゅう)

おやつに最中をたべる。(もなか)

(3) 名前には仮名をふってください。(かな)

本名ではなく仮名で名乗る。(かめい)

しきし・いろがみ

もなか・さいちゅう

かめい・かな

(4) 生物はくさりやすい。(なまもの)

生物の進化をたどる。(せいぶつ)

なまもの・せいぶつ